

R5年10月放送分
「三沢防衛事務所について」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R5.9.26 収録

【パーソナリティー】

本日は、「三沢防衛事務所について」をテーマに、東北防衛局三沢防衛事務所から職員2名の方にお越しいただきました。よろしくお願いいたします。

【次長、石川係長】

よろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

では、はじめに自己紹介をお願いします。

【次長】

はい、三沢防衛事務所次長の^{ちだ}千田です。出身は宮城県です。よろしく
くお願いします。

【石川係長】

同じく三沢防衛事務所業務課業務第2係長の^{いしかわ}石川です。出身は岩手
県です。よろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

こちらこそ、よろしくお願いいたします。それでは、今回のテーマの三
沢防衛事務所について、お話しをお願いします。

【次長】

はい、三沢防衛事務所は、青森県三沢市に所在し、管轄区域は青森
県です。主な業務は青森県内の自治体や関係機関との連絡調整や資料
収集などです。

具体的には、米軍の事件や事故が発生した時の初動対応と、その損害賠償の請求窓口のほか、防衛施設の財産管理に係る調整や、飛行場周辺の住宅防音工事と建物などの移転に関する相談窓口。また、青森県内の米軍施設に勤務する基地従業員約 1,400 名に対する給与の支払いと福利厚生などを行う労務管理事務などを実施しています。

【パーソナリティー】

青森県内にはどのような防衛施設があるのですか。

【次長】

青森県内には、本土で唯一、陸・海・空の自衛隊と陸・海・空の米軍施設が所在しています。

自衛隊施設では、陸上自衛隊青森駐屯地、海上自衛隊大湊地方総監部、航空自衛隊三沢基地には将官が配置されていて、これは全国で東京都と青森県だけとなっています。このほか航空自衛隊大湊分屯基地には、大型固定 3 次元レーダーが設置されていて、このレーダーは外観がカメの甲羅に似ていることから、特撮映画の怪獣ガメラにちなんでガメラレーダーと言われています。ガメラレーダーは、むつ市の釜臥山の頂上に設置されているので、市街地からは山の頂上に巨大な建物が建っているかのように見えるんです。

他にも、弘前や八戸の駐屯地、八戸飛行場、第 4 補給処東北支処、防衛装備庁の下北試験場など、100 を超える自衛隊施設が所在しています。

米軍施設では、移動型レーダーが配備されている陸軍の車力通信所、海軍の八戸貯油施設、空軍の三沢飛行場、三沢対地射爆撃場の 4 か所があります。

また、防衛施設ではないのですが、自衛隊や米軍が訓練などを実施するために必要な水面を漁業者の方などからお借りして設定しています。自衛隊関係では、六ヶ所対空射撃場水域、むつ湾掃海訓練海面、下北半島射撃試験海面の 3 つの水域を設定しています。米軍関係では、太平洋上の三沢対地訓練水域、小川原湖内の三沢飛行場水域の 2 つの水域を設定しています。自衛隊関係の水域は毎年、期間を区切って設定し、米軍関係の水域は通年 365 日設定しています。

【パーソナリティー】

青森県内にはたくさんの防衛施設があるのですね。面積もかなり大きいのでしょうか。

【次長】

県内の防衛施設の面積の合計は、現在約62平方キロメートルあり、これは全都道府県のうち4番目に広く、在日米軍施設・区域では、沖縄県に次ぐ2番目の広さとなっています。

【パーソナリティー】

それは広いですね。

三沢飛行場や三沢対地射爆撃場たいちしゃばくげきじょうはよく名前を聞きますが、何か特徴のある施設なのでしょうか。

【次長】

県内最大の防衛施設である三沢飛行場は、米軍、航空自衛隊及び国土交通省東京航空局の3者が共同使用している飛行場であり、米空軍が管理をして、航空管制は航空自衛隊が行っています。民航機の三沢空港ターミナル部分は国土交通省が管理しています。3者による共同使用は、山口県の岩国飛行場と三沢飛行場のみです。民航機は離着陸時に三沢飛行場内の外周道路を横切って空港ターミナルの駐機場と滑走路間を移動しますが、民航機がこの道路を横切る時は、車両は信号機で停車します。踏切で電車が目の前を通過するように、民航機が目の前を通過する様子は一風変わった光景です。

三沢対地射爆撃場については、三沢市と六ヶ所村に所在していて、米空軍が管理して、航空自衛隊が共同使用しています。本土唯一の射爆撃場で模擬爆弾の投下訓練や射撃訓練を行っています。

【パーソナリティー】

なるほど。目の前を旅客機が通過する様子は興味深いです。

重要な防衛施設がある青森県を管轄しているということですが、日頃の業務で心掛けていることはありますか。

【次長】

はい。当事務所は、住宅防音工事や移転に係る相談、米軍施設に勤

務する日本人などの基地従業員の職場に関する各種相談などの窓口となっており、個人の来訪者が多いことも特徴で、親身になって対応しています。また冒頭で申し上げました、米軍の事件や事故に伴う損害賠償の請求窓口となっていますが、被害を受けられた方々と接する機会が多いため、丁寧な対応を常に心掛けています。損害賠償については、担当の石川係長から説明させていただきます。

【石川係長】

私が担当している主な業務は、米軍人などによる事件や事故が発生した時の情報収集と、関係自治体などへの連絡と、その損害賠償請求に関する手続きです。

米軍の航空機事故が発生した場合は、初動対応として現地に連絡員を派遣し、関係自治体に情報提供を行います。

また、米軍人が仕事中に交通事故を起こし、日本人の車両に被害を与えた場合は、当事者から事故の状況を聞き取り、被害車両の写真を撮って調書を作成します。被害にあわれた方に必要な書類を作成してもらい、損害賠償の手続きを進めていきますが、米軍との調整が必要となるため、解決まで相当の時間がかかる場合があります。

事件や事故が、万が一発生した場合は、被害にあわれた方の賠償が速やかに、そして確実になされることが、第一と考えていますので、丁寧な対応をいつも心掛けています。

【パーソナリティー】

被害者との調整は大変ですね。

他には何か苦勞されていることはありますか。

【石川係長】

はい。航空機などの騒音の苦情を受けることがあります。電話での対応がほとんどですが、人それぞれ生活環境や生活リズム、騒音の感じ方が違うので、苦情を言いたくなる気持ちも理解できます。苦情を受けたときは、気持ちがへこむこともあります。相手の身になって対応するよう努めています。

【パーソナリティー】

地域住民の方々の理解と協力を得るためにご尽力されている様子が

うかがえました。それでは、最後に次長からリスナーの方々にメッセージをお願いします。

【次長】

青森県は、防衛上の重要な地区と位置づけられています。その中でも米軍の三沢基地は、日本の安全保障にとって必要不可欠な基地となっています。このような重要な地区を管轄する事務所としての役割を十分に認識した上で、防衛省・自衛隊に対する地域の皆様のご理解とご協力が得られるよう今後も精一杯努力していきたいと思っています。

【パーソナリティー】

本日は、三沢防衛事務所の業務について、千田^{ちだ}次長と石川^{いしかわ}係長からお話しをお聞きしました。ありがとうございました。

【次長、石川係長】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。